

# 平成29年度 後期 学校評価(自己評価) 報告④

八幡浜市立保内中学校

H30年1月実施 回答数：教職員22名 生徒262名 保護者253名

回 答 (A)あてはまる (B)だいたいあてはまる (C)あまりあてはまらない (D)あてはまらない

肯定評定  $\frac{\text{<(A)+(B)>}}{\text{<(A)+(B)+(C)+(D)>}} \times 100$

評 価 80%以上…A 60%～80%…B 60%未満…C 比較：1%以上向上…↑ 1%以上後退…↓ 変化率±1%未満…→

項目	別	質問内容	回答数(人)					肯定(%)	評価	H29前期		肯定(%)	項目評価	H29前期		
			(A)	(B)	(C)	(D)	?			肯定(%)	増減			肯定(%)	増減	
4 分かる楽しい授業の実践	(12)	教職員	分かる授業を展開するために、授業改善に努めている。	7	12	1	0		95.0	A	100.0	↓	85.4	A	84.2	↑
		生徒	先生は、分かる授業を展開するために工夫している。	168	79	12	3		94.3	A	92.0	↑				
		保護者	お子さんは、授業は分かりやすいと感じている。	42	132	48	11	20	74.7	B	74.7	→				
	(13)	教職員	学力向上推進計画に基づき、学習方法や展開の工夫を行っている。	2	17	1	0		95.0	A	88.9	↑	83.9	A	82.3	↑
		生徒	先生は、生徒の分からないことを丁寧に教えている。	182	70	9	1		96.2	A	92.4	↑				
		保護者	学校の先生は、分かるまで勉強を教えてくれると感じている。	46	109	57	14	27	68.6	B	70.6	↓				
	(14)	教職員	家庭学習が習慣化するよう、個に応じた適切な指導に努めている。	4	13	3	0		85.0	A	88.9	↓	85.2	A	81.3	↑
		生徒	あなたは、毎日の家庭学習が習慣になっている。	142	93	25	2		89.7	A	85.1	↑				
		保護者	お子さんは、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	89	115	39	10	0	80.6	A	76.8	↑				
	考察・対応策等	(12)	全体としては高い評価である。しかし、前期に引き続き保護者からの評価がやや低く、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と評価した割合がおよそ25%いる。生徒からの評価は94%と非常に高く、教員の努力を認めているという結果になったが、テスト結果等で保護者がまだ十分でないと感じていると考える。今後も「分かる授業」の実践を継続すると共に、テスト等の結果でも教員の頑張りを見せることができるよう努力していきたい。													
		(13)	全体としては高い評価である。(12)と同じく、生徒からの評価は非常に高いが、保護者からの評価が低くなっている。前期の評価を受け、教員も丁寧な学習指導に努めてきたが、保護者からするとまだ十分ではないと感じていると考える。子どもにしっかりと学力を付けてほしいという保護者の願いを受け止め、授業をはじめとする学習指導に取り組んでいきたい。													
		(14)	全体として高い評価である。生徒・保護者の評価も前期評価と比べて高くなっている。家庭学習の内容や方法等を個別に指導するなどの効果が出てきていると考える。進級・進学を控え学校の授業だけでなく、家庭での学習も含めて1年間のまとめができるよう指導していきたい。													
(総)		前期に引き続き、三者共に全体としては高い評価である。3項目とも、保護者の評価がやや低くなっているが、教職員に対する期待の大きさと捉え、今後も毎日の教育活動に真摯に取り組み、生徒一人一人の学力の向上に努めたい。														